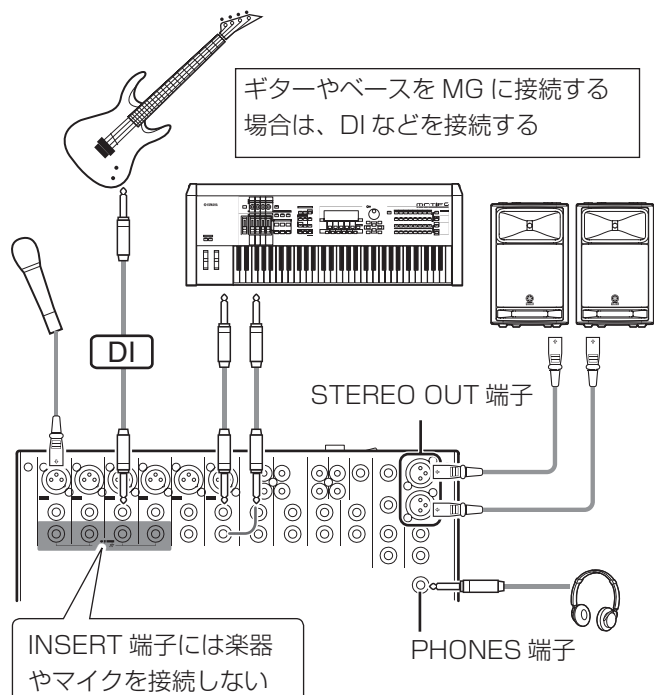


音が出ないときは (MG124CX/MG124C)

音が出ないときや音が小さいときなど、困ったときに活用してください。STEREO OUT 端子や PHONES 端子から出力する場合の設定です。
機能の詳細については、取扱説明書をご覧ください。

STEP 1 接続

楽器やマイク、スピーカーは正しく接続されているか、または、断線したケーブルを使用していないか確認してください。



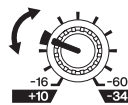
STEP 2 スイッチ、コントロールの設定

全体のバランスを確認する

イラストの設定にすると、スピーカーとヘッドフォンから全体のバランスを確認できます。

GAIN コントロール

PEAK インジケーターが一瞬点滅する程度に上げる



PEAK インジケーター

ON スイッチ

オン (点灯)

• EFFECT の ON スイッチは、MG の電源をオンにするたびに自動的にオン (点灯) になります。ロックはしません (MG124CX のみ)。

PFL スイッチ

すべてオフ (■)

• PFL スイッチが一つでもオンになっていると、レベルメーターやヘッドフォンで全体の音を確認できません。

ST スイッチ
オン (■)

チャンネルフェーダー
チャンネルごとの音量を調整

STEREO OUT マスターフェーダー
「0」を基準に全体の音量を調整

コンデンサーマイクを使用する場合はオン (点灯) にする

• スピーカーから大きなノイズが発生しないように、パワードスピーカー (パワーアンプ) の電源をオフにしてから PHANTOM +48 V スイッチをオンにしてください。

PEAK LED が頻繁に点滅する場合は、各チャンネルのフェーダーを下げる

モニター信号切り替えスイッチ
STEREO (■)

• レベルメーターやヘッドフォンでモニターできるようになります。

モニターコントロール
ヘッドフォンやモニタースピーカーの音量を調整

チャンネルごとの音をモニターするには？

チャンネルフェーダー調整前のチャンネルごとの音を、レベルメーターやヘッドフォンで確認できます。

- PFL スイッチ：確認したいチャンネルをオン (■)
- モニターコントロール：音量を調整

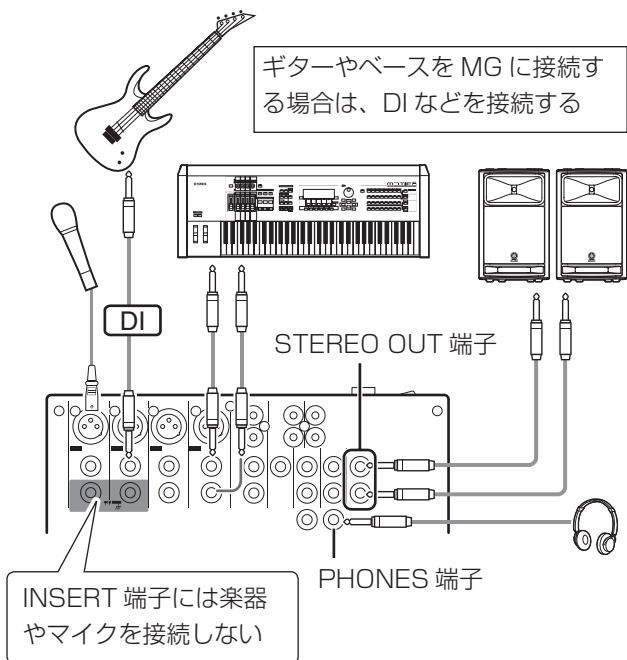
音が出ないときは (MG82CX/MG102C)

音が出ないときや音が小さいときなど、困ったときに活用してください。STEREO OUT 端子や PHONES 端子から出力する場合の設定です。

機能の詳細については、取扱説明書をご覧ください。

STEP 1 接続

楽器やマイク、スピーカーは正しく接続されているか、または、断線したケーブルを使用していないか確認してください。



STEP 2 スイッチ、コントロールの設定

全体のバランスを確認する

イラストの設定にすると、スピーカーとヘッドフォンから全体のバランスを確認できます。

